会　議　録

1　会議名	第５回南砺市協働のまちづくり推進会議
2　議題（公開）	１．分科会に分かれて意見交換と課題の取りまとめ
3　開催日時	平成２７年６月２４日（水） 開会時間：午後７時／閉会時間：午後９時００分
4　開催場所	南砺市協働のまちづくり支援センター
5　会議出席者	［委員：出席１４名／全２０名］　※５０音順 磯辺文雄、今川浩美、上坂正治、江田　攻、沖田光弘、長田正勝、武田勇人、名村桂子、能登貴史、林　則雄、法邑千映子、松本浩希、森川武雄、安居時美 ※欠席委員：江田久嗣、栗山芳雄、河合朱希代、齋藤よし子、 武田和一、堀　豊次 ［市：出席２名］ 事務局 市民協働課長　宮崎博好 〃　市民協働係長　水口浩巳
6　傍聴者	なし
7　委嘱書交付	新任委員　松本浩希（南砺市老人クラブ連合会推薦）に宮崎辞令交付
8　新任委員の紹介	資料１　委員名簿にて、松本浩希委員を紹介
9　会議記録 分科会に分かれて意見交換課題の取りまとめ	【周知・広報】 条例第６条の市民の責務のなかで参画しなければならないと記載してありその意味でパブリックコメントの勉強会を開催する必要がある。 目標数値設定など具体的な提案事項をだす。みなさんに宿題として出しますので次回までに皆さんにまとめてきていただきたい。 ７月中旬までに提言をまとめる。 ①　ブリックコメントの勉強会開催 ②設定目標など具体的な提案事項をまとめてくる（宿題） 窓口にパブコメのホワイトボードの設置 議会傍聴の目標人数設定 パブコメの目標数設定 計画段階でパブコメ　など ③７月中にワークショップでの提言をまとめる

	【コーディネーター】 条例にも記載してあるが、設置に対しての動きが行政にない、条例を遵守してもらい、コーディネーターの養成を協働で行う。その中で資格要件や活動についても講座で検討し、決めていく。役割を検討し、問題に対して必要な人を集め、話し合いで解決していく。 とにかく行政、市民の考えているモデルを作る。行政に早く養成してもらいたい。 総合的なコーディネーターなら、地域支援員を活用して地域の具体的な要求を提言していく方が行政も解決しやすい。地域づくりに必要で地域に役立つ人に行動してもらえばよい。 条例に記載されているが設置されていないことが問題であり、レベルの高いコーディネーターを設置してもらいたいことを提言するものである。 ◎リーダーor コーディネーター ◎条例を遵守させる ◎コーディネーターって何？ ◎コーディネーター養成を早くする ◎条例に記されているコーディネーターが設置されていない ◎コーディネーターの性格機能がはっきりしていない ◎使命、役割の明文化 ◎市が養成や認定をする気があるか ◎コーディネーター養成講座を実施する 【行政評価】 内部評価は行われている　ただし、その評価に対してどう評価されているのかは不明。外部評価は必要と考えるが、まだその体制はない様である。25%以上の出資会社は自らホームページ等で経営状況等をオープンにすべきである。評価についてはもっと勉強してから進めたい。行政は施策を打ち出すときは、成果指標を明確にして対応すべき。アンケート等がとられているが、とっただけとなっていないか。それに対する評価はどうしているのか ○内部評価の説明、評価はどうなっているか ○３セクに対する評価がどうなっているか、どう評価するか明確にするため、成果目標を　決めておくべき ○情報公開はできている ○施策を出すときの成果指標を決めて出しているか ○３セクの全体状況。指定管理評価委員会の資料 ○出資会社はもっと自らオープンにすべき ○外部行政評価はもう少し期間をおいてから

	○自治振興会についてアンケートがとられているが、それをどう生かそうとしているのか ○行政評価をしなければならない緊急性は？ ○出資会社はホームページをつくり、経営状況等を公開させる様にする
今後の進め方について	７月いっぱいくらいをめどに各分科会で提言の取りまとめを行って下さい。次回の運営員回で方針を検討して皆様にご案内いたします。
その他	氷見での「協働」「自治」「地域づくり」のセミナー開催の案内 日時　平成２７年６月２８日（日）16:50～ 場所　氷見市役所 副委員長が挨拶し、会議を閉じる。　　終了２１時００分